

法音寺の教えと血脈 紹介方法について



高槻支院 運営委員会
(2011年1月1日 新年祝禱会)

三徳開教百年を 新たなスタートの年に



始祖の教えの
原点に立ち返り
再スタートの
節目の年にしましょう。



法音寺の教えって何なの？

杉山先生は六波羅蜜「布施・持戒
忍辱・精進・禪定・智慧」を
凝縮した「三徳」の教えを基に
分け隔てなく、すべての人を
貧病争から救う為に物心両面から
救済の手を差し伸べられました。

(六波羅蜜とは此岸から彼岸へ渡る為の実行徳目の事)

「三徳」とは何でしょうか？

始祖、杉山先生は法華經の教えの根幹である
六波羅蜜を凝縮されて3つに集約して
私達に分かり易く「三徳」として説かれました。



「三徳」を
詳しく見てみましょう

三徳とは「慈悲・至誠・堪忍」

簡単に要約すると

「幸せを呼び込む種」だと言う事です

現在の山首上人様が三徳を分かり易い
言葉で表現し、教えて頂いております

慈悲とは・至誠とは・堪忍とは

慈悲とは（親切と感謝）

自分の身の回りの人に対して最大限の友情を払っていく事です
自分の事も考えるけど、それ以上に相手の事も考えて喜んで頂く事です

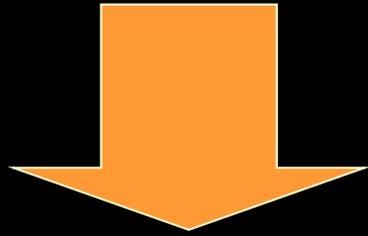
至誠とは（三徳の行いが続く姿）

話す事と実行する事が有言一致し続けられる姿が尊いのです
仏様の教え三徳を実行し身の回りの人々に喜んで頂きましょう

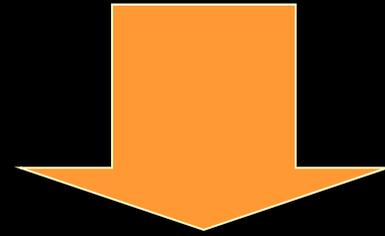
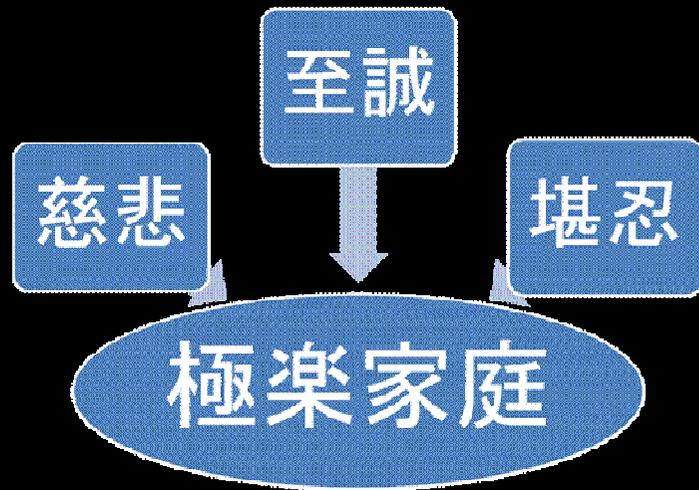
堪忍とは（穏やかな心を育む）

三毒の心使いで堪忍が破れると今迄の徳が全て消えて無くなります
杉山先生が「柔和忍辱」で教えられています
慈悲深くして無理を言う者は子供だと受け止めお題目を唱えましょう
仏様の教えの因縁を悟り自分の罪障と受け止め広い心を育みましょう

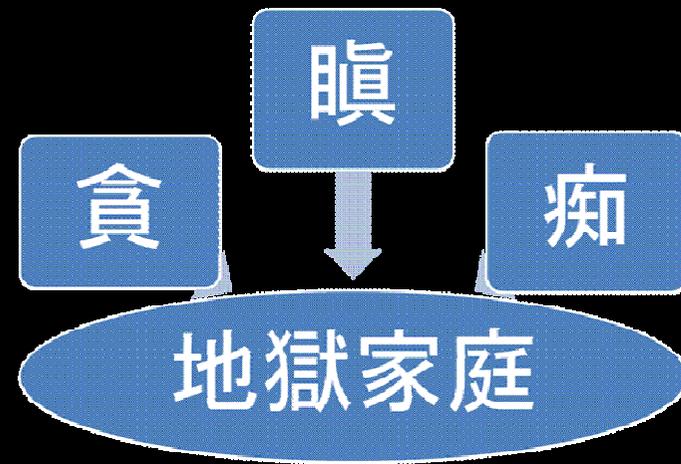
三徳を実行すると・三毒を実行すると



慈悲・至誠・堪忍の実行



貪・瞋・痴の実行



この三徳の実行が「幸せを呼び込む種」となります

法音寺ってどんなお寺なの？ (1)

始祖 杉山辰子先生は

「困っている方は誰でもいらっしゃい」と
分け隔てなく物心両面より救済を実行されました。
併せて社会福祉法人及び学校法人を運営しております。
日本でも数少ない福祉と学びと人助けのお寺です。

良い種まき

因果の二法

(原因>縁起>結果)

良い種をまかずして、
良い結果がでましようか？
良いことを願うなら、
今から仏の教えに随って
良き行いをするならば、
必ず貧者は富者となり、
病者は健康者となります



法音寺ってどんなお寺なの？ (2)

法音寺の社会福祉・教育事業

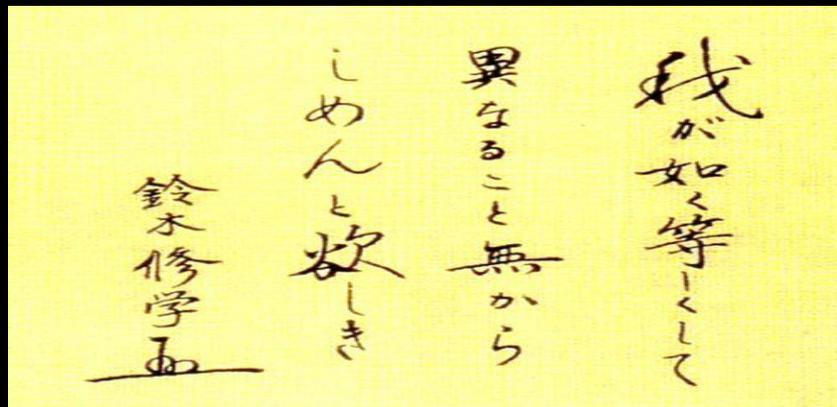
徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす 社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
駒方寮
名古屋養育院
- 地域小規模児童養護施設
ドミトリ一駒方
ドミトリ一南風
- 知的障害児施設
小原学園
- 知的障害者援護施設
小原寮
泰山寮
- 知的障害者援護施設(通所)
授産所高浜安立
- 障害福祉サービス事業
のぞみホーム高浜安立
グループホーム高浜安立
- 特別養護老人ホーム
安立荘
高浜安立荘
小原安立
- 養護老人ホーム
養護老人ホーム高浜安立
- 軽費老人ホーム
ケアハウス高浜安立
- 高齢者生活支援事業(受託事業)
生活支援ハウス高浜安立
- 高齢者短期入所生活介護事業(単独型)
いこいの宿高浜安立
- 認知症老人共同生活援助事業
高齢者グループホーム小原安立
- 老人デイサービス事業
高浜安立荘デイサービスセンター(高浜安立荘併設)
養護老人ホーム高浜安立デイサービスセンター(養護老人ホーム高浜安立併設)
- 居宅介護支援事業
高浜安立荘居宅介護支援事業所(高浜安立荘併設)
- 児童家庭支援センター(受託事業)
地域子ども相談室・子ども家庭支援センター さくら(名古屋養育院併設)
- 児童自立生活援助事業
慈泉寮
■保育所
駒方保育園
光徳保育園
天王保育園
- 診療所
駒方診療所
- 軽費老人ホーム
ケアハウス大阪安立

社会福祉法人 大阪昭徳会

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す 学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校



法音寺は

- 1) 福祉のお寺
 - 2) 学びのお寺
 - 3) 人助けのお寺
 - 4) 罪障消滅が出来るお寺
- とすることが出来ます

私達の教えのルーツ

私達の大乗山法音寺はお釈迦様に始まり日蓮聖人そして
始祖：杉山辰子先生>>村上齋先生>>御開山日進上人
>>現在の山首上人>>副山首上人>>各支院主管者
と繋がっており教えが伝えられて継承されて来ました。

>>>>> これを血脈相承とします >>>>>



お釈迦様



日蓮聖人



創立者
杉山辰子先生
(1868~1932)



二代目会長
村上齋先生
(1856~1947)



初代理事長
鈴木修学先生
(1902~1962)



大乗山法音寺
山首鈴木宗音



大乗山法音寺
副山首鈴木正修

私達の一人一人が この血脈相承の中の一人です

始祖の、この3大誓願の精神は歴代先師より繋がっており、これを血脈相承ともいいます。

私達は、この御法（真理）を伝えていく役割を担い橋渡しをしていく使命があります。

私達は先祖や、ご両親や周囲の縁ある人々があつて、正しい信仰と法音寺の教えによって、現在の自分と家族の存在があると言っても過言ではありません。

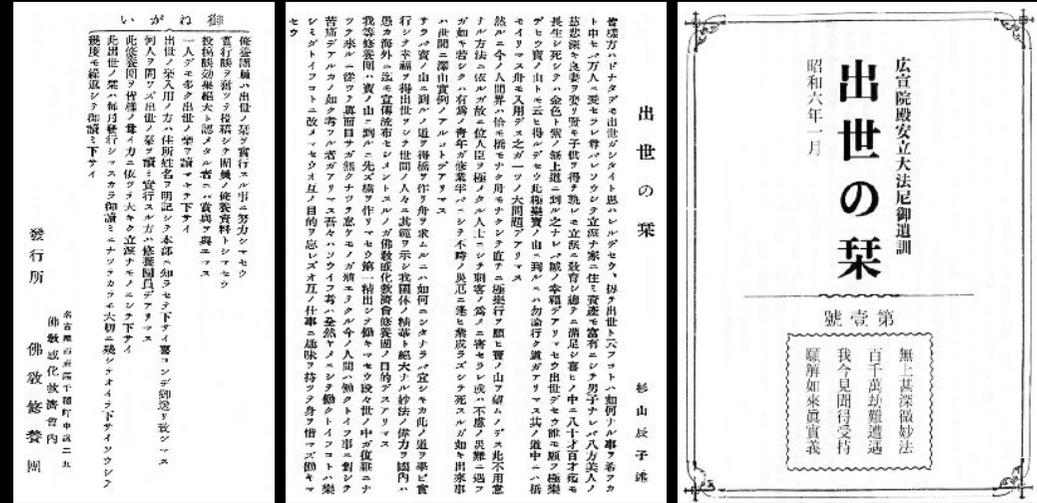
そして始祖、杉山辰子先生と御開山日進上人様が私達に「出世の栞」の巻末でお願いとして言っておられます

昭和第七の新年を迎え、ここに一大誓願をしました。
我、閻浮提の太陽と成らん
我、煩惱を能く断ず
我、妙法を以って仏を成ぜん
南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経

出世の栞

巻末にお願いが書かれています

- 1) 三徳を実行する事に努力しましょう
- 2) 体験談を奮って投稿し修養資料としましょう
(体験談をお互いに共有して学んで下さい)
(他人の体験談も学んで自分のものにして下さい)
- 3) 一人でも多くの人に「出世の栞」を読ませて下さい
(この教えを知らない人に出世の栞で伝えて下さい)



御開山日進上人様は

「留守になった修学」

として私達に遺言を残されました

留守になった修学

魂は永く法音寺に留まって
檀信徒を守護します。

法華経の実践は、仏様の遺
されしもの、末代の人々の
成仏の直道、怠らず退せず
頼みます。

法華経を流布して、徳を
積んで下さい。

心ある人々、力を協せて
御願ひします。

修学

「留守になった修学」 に書かれてある事は

留守になった修学
魂は永く法音寺に留まって
檀信徒を守護します。
法華経の実践は、仏様の遺
されしもの、末代の人々の
成仏の直道、怠らず退せず
頼みます。
法華経を流布して、徳を
積んで下さい。
心ある人々、力を協せて
御願ひします。
修学

- 1) 三徳を実行する人には
私の魂は永く法音寺に留まって檀信徒を守護します
- 2) 三徳の実行は仏さまが望まれていることです
怠らず休まず頼みます
- 3) 法華経を流布して徳を積んでください
そして御開山上人が最後に私達に頼まれた事は
- 4) 心ある人々、力を合わせてお願いします

始祖及び御開山上人のお願い
から「血脈相承」を考えると
先師の私達へのお願いとは
何でしょうか

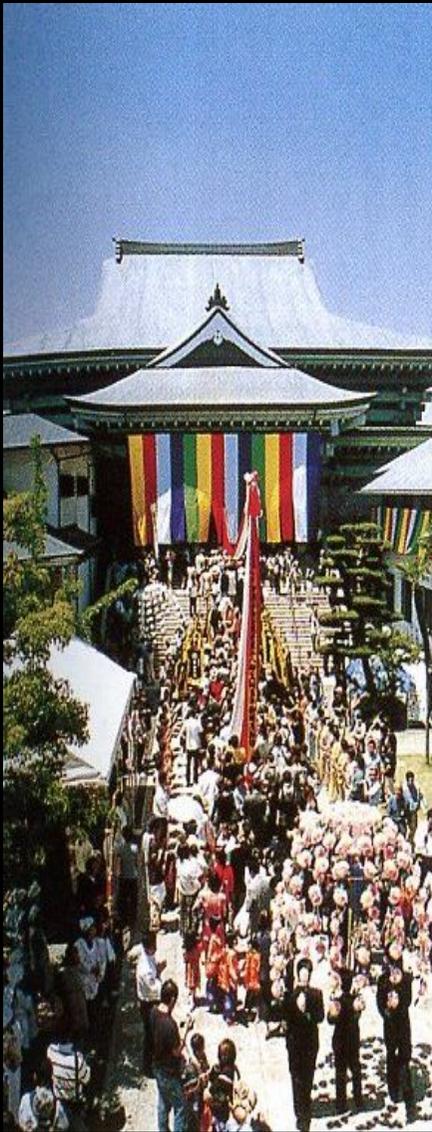
- 1) 三徳を実行して下さい
- 2) お互いの体験談を共有して財産にしましょう
- 3) 広宣流布、一人でも多くの人にこの教えを伝えていこう
- 4) みんなで協力して力を合わせてやっていこう

法音寺は大きな節目の年を迎え、
新たな目標に向かって
夢と希望を持ち決意を新たに
して再出発をする時を迎えております

御開山日進上人様が「留守になった修学」で言われております
心ある人々、力を合わせてお願いします
主管者・運営委員・信教師・全信徒の皆様へのお願いです

そして御法推進目標で掲げるように
「一人からはじまる 今日一日から始まる」
「一人はすべてのために すべては一人のために」

どうぞご理解と御協力を宜しくお願い致します。



編集 法音寺高槻支院運営委員会

終

高槻支院ホームページ

「www.kinki.zaq.jp/takatsuki_shiin」